

寿楽苑だより

138号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者／施設長 高村 敏明

〒938-0103 下新川郡入善町舟見1664

TEL: 0765-78-1935 FAX: 0765-78-1941

e-mail: jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp/

令和 7年 11月20日発行

おふたりの百寿を祝う



10月に百歳を迎えられた荒木フミ子さん、河内ひさ子さんおふたりの百寿を祝う会が、町長をはじめ社会福祉協議会の方々や御家族などのご臨席のもと盛大に行われました。

舟見寿楽苑では、同じ月におふたり同時に百歳を迎えられるのは初めてのことです。

はじめに笹島入善町長より内閣総理大臣からのお祝い状と記念品が贈呈され、長寿を祝い、多年にわたる社会の発展に寄与したことへの感謝の意が伝えられました。

続けてお祝いのお言葉やお祝いの品が贈られ、さらにくす玉を割るセレモニーも。お二人とも「ありがとう」ととても喜ばれ、優しい笑顔がみられました。

現在当苑では、百歳以上の方が9名、お元気に過ごされています。

米寿のお祝い

9月末に勘坂富美子さんの米寿のお祝い会が催されました。

この日のお祝いのために、ご家族が黄色のちゃんちゃんこをご用意されました。黄色は長寿や繁栄、幸運を象徴する色とされ、ご家族の思いが込められています。

町からのお祝い状や記念品を飾り、笑顔でご家族で記念写真撮影に納まりました。

今年舟見寿楽苑では、喜楽苑を含め5名の方が米寿を迎えられました。



各セクションで運動会開催

左上：1セクション 左中：3セクション 左下：デｲｯﾍﾞｽ
右上：2セクション 右下：ひばり野苑



9月は各セクションでそれぞれ工夫を凝らした運動会が行われました。パン釣り競争、サイコロで綱引き、じゃんけんリレー、玉投げ、人形送り、借り物競争、順送球、パン取り競争、綿菓子取り競争、大波小波など競技種目は、実に多彩。なぜか歌を歌ったり、仮装したりするセクションも。みなさんの大きな笑い声や声援が響き渡る、賑やかで楽しい運動会となりました。

喜楽ガーデン収穫祭

喜楽ガーデンに植えたさつまいもの収穫と試食会をしました。初めて植えたさつまいもの出来に皆さんハラハドキドキ。土の中から出てきた芋に歓声が上がります。

後日、喜楽ファームで収穫したさつまいもを使っておやつ作りをしました。「何して食べたらいいかな？」とみんなで相談。「さつまいもをのどに詰めたら大変だから…やわらかく煮る？」「みたらしあんをかけてみようか？」「りんごもあるんだけど…やわらかく煮たらおいしいよね。」「みんなで食べると美味しいね。」と大好評でした。



土砂災害を想定した避難訓練



10月21日、集中豪雨による土砂災害を想定した避難訓練を行いました。1階から2階への徒歩による避難や担架を用いた搬送を実施、特に担架を用いた搬送訓練は、ほとんどの参加者が経験がなく、安全面を確認しながら慎重に行い、職員同士の連携や声掛けの大切さを学ぶよい機会になりました。

富山福祉短期大学介護実習



11月4日から27日まで、富山福祉短期大学の学生さんが、介護実習に臨みました。

秋晴れの御神輿巡行



秋晴れになった10月12日、恒例の舟見藤保内神社の秋季祭礼で御神輿が寿楽苑にやってきました。正面玄関前広場で皆さんが集まる中、盛大に行われました。

初めに青年団による花の口上があり、続けて子ども達による踊りなどが披露されました。

「あったかい日で良かったね。」「春のお祭りは寒いけど、秋のお祭りってあたたかいかも。」「久しぶりに神輿さん見られてよかったわー」

神主による神事が厳かに行われ、その後お神酒が振るまわれました。広場に集まった皆さんは「お神酒いただきますね。」と口にしていました。



まごころ善意

令和7年9月19日～11月19日分（順不同、敬称略）

ボランティア

- ・入善町婦人ボランティア連絡協議会
- ・273Eco Life Supprt

寄附金

- ・村田 正道
- ・滝本 美樹

寄付物品

- ・宝田 美幸
- ・沓掛 忠昭
- ・七澤とすゑ
- ・米田 一明
- ・匿名(2名)

10月、ボランティア団体「273Eco Life Supprt」(小林嘉次会長)による寿楽苑周辺の草刈りが行われました。



舟見寿楽苑

ホームページ

右のQRコードから



令和7年度

富山県知事表彰（厚生部門功労）



この度、当苑介護長の九里真砂美さんに富山県知事表彰が贈られ、11月19日に富山県庁にて表彰式が行われました。この表彰は、厚生部門（社会福祉事業等）において、顕著な功績のあった個人・団体に対し、その功績を讃えるものです。

九里介護長は、永年にわたり、介護現場の先頭に立ち、入居者、利用者の介護に誠意をもって対応し、明朗活発で誰とでも分け隔てなく接し、利用者や職員からの人望も厚く、また、専門的な知識と豊富な経験から各種研修会の講師を務め、介護職を目指す後進の指導育成にも尽力されました。

改めて当苑での長年にわたる功績に感謝申し上げますとともに、今回の受賞心よりお祝い申し上げます。

編集後記

「長寿祝い」は日本に古くからある伝統行事で、60歳を祝う還暦をはじめ70歳の古希、77歳の喜寿、88歳の米寿、百歳の百寿などが挙げられます。昔は特別だったことが、平均寿命が80歳を越える高齢社会となり、多くの人がその節目を迎えることができるようになりました。長寿祝いは、人生の重要な節目を迎えた方を囲み、家族や親しい人々と喜びを分かち合う温かなひとときです。そうしたひとときをいつまでも大切にしていきたいものです。

